



# 36 創立：1984.7.10/証認：1984.8.6 国際ロータリー第2660地区 大阪鶴見ロータリークラブ会報

事務所：〒534-0026 大阪市都島区網島町9番10号 太閤園内  
電話：06-6357-8171 ファックス：06-6357-8011  
例会日：毎週火曜日 12時30分/例会場：太閤園  
会長：大草 修/幹事：源壽美子/SAA：須田幸史朗  
電子メール：rcosatrm@cf.mbn.or.jp  
ホームページ：http://rc-osaka-tsurumi.jp/



ロータリーは世界をつなぐ

## 本日の例会

〈第1658回〉 2020年1月7日(火) 本年度第21回

### 卓話

高齢者総合機能評価/フレイル/  
ポリファーマシーとは？

担当：谷会員

- ロータリーソング
  - ランチタイムミュージック
- 君が代・四つのテスト

## 次回の例会

1月21日(火)

### 次回卓話

職業奉仕について  
講師：山崎会員

担当：清水会員

## 前回の報告

### PRESIDENT INFORMATION

### 会長インフォメーション 会長：大草 修

大阪鶴見ロータリークラブは、1984年7月10日、大阪城東ロータリークラブをスポンサークラブとして、27名のチャーターメンバーで発足いたしました。今も3名のチャーターメンバーが現役で活躍されております。現在、31名の会員にて、毎週火曜日 太閤園にて例会を行っております。

例会ではロータリーソングの合唱の後、当日の出席者全員が握手をしてお互いの親睦を深めて、スタートするという事を行っております。

では、この35年を振り返りますと、大阪鶴見ロータリークラブは、鶴見区民まつりへの参加、鶴見緑地周辺道路の清掃奉仕活動、サツマイモプロジェクト・芋掘り等、数々の奉仕活動を行って参りました。

そして、2014年からは、鶴見緑地公園(1990年の花博会場)に「アーモンドの森を作ろう」プロジェクトを立ち上げ、現在50本のアーモンドの植樹を行っております。

このアーモンドの樹は春には桜に似たピンク色の綺麗な花が咲き、満開時には区民の憩いの場にもなっており

ます。

また、サツマイモプロジェクト・芋掘りは地域の親子さんと一緒にサツマイモの苗の植付から収穫へと大変人気の行事になっております。

また、国際交流基金を設立したり、留学生による「日本語作文コンクール」を今日まで継続して行っております。そして、2014年には、台北市華扶輪社と姉妹クラブも締結し、相互交流、共通の奉仕事業等も行っております。

しかし乍ら、昨今は人口の減少、経済状況の変化といった社会的現象の中、ロータリアンが

減ってきておりますが、会員増強に力を入れ、更なる活動、奉仕を行って参りたいと考えております。

今、この35年を振り返り、先輩諸氏のロータリーに対する熱意を引継ぎ、そして、時代の変化に即応した対応をして、より一層発展させなくてはと思っています。

どうか今までお世話になりました方々には恵心よりお礼申し上げますと共により一層のご指導ご鞭撻を賜わりますようお願い申し上げます。

## 職業奉仕月間

大阪鶴見ロータリークラブテーマ「Together」

- 1月7日（火） 例会日
- 14日（火） 祝日週休会
- 21日（火） クラブフォーラム（職業奉仕部門）
- 28日（火） 新年夜例会/やまと

 **NIKONIKO箱** 

¥8,000.- 累計 ¥454,000.-

木村 会員 華朋RCの皆様おひさしぶりです。  
世界大会には参加します。

田中(信) 会員 武会長はじめ11名のファーボンRCの皆様  
さんを大歓迎致します。

**今月の表彰とお祝い**

**誕生日**

津野、広瀬

**在籍年数**

- 【33年】中村
- 【28年】小山
- 【22年】広瀬
- 【5年】大見、源

**ホームクラブ10回連続賞**

菊井、小山、水口

**結婚記念日**

小山、鳥居、大見

**事業所創立日**

1/5 山崎、1/8 大草

各会員

**クリスマス家族会  
台北市華朋RC来訪**

**親睦委員会報告**

委員長：秀島博規

必要な情報がぎりぎりまで判明しなかったりで、現場で二転三転するなど当日までバタバタしましたが、終わりよければすべて良し。

会長・幹事、出席・親睦委員会、SAAほか、おかげさまで台湾からのご来客を含め参加者60名以上の皆さんにお楽しみ頂いたと思います。

事務局（旧事務局の樋口さんを含め）の尽力にも大いに感謝いたします。

出席・親睦委員会委員長としては、お役目も山場を越えてホッとしました。

次は1月28日の新年会、そして春の小旅行を行うかどうか（やるとすれば半日コース?）、未だ方針が出ていませんが年度末のホテルを見る会・・・ですね。

まずは出席・親睦委員会の親睦を深めつつ、打ち合わせて行きましょう。

**35周年を迎えるにあたりまして**

35周年実行委員長 山崎修一

台北市華朋扶輪社の皆様を多数お迎えいたしまして、大阪鶴見ロータリークラブの会員の皆様及びその家族の皆様とともに、35周年のご報告をさせていただくことができますことを、たいそう喜ばしく光栄に存じます。

私たち大阪鶴見ロータリークラブは、1984年7月10日、大阪城東ロータリークラブを親クラブとして、27名のチャーターメンバーのもと、太閤園を例会場として発足いたしました。それからはや35年が経過いたしました。

35周年を迎えるにあたり、実行委員会といたしましては、10周年、20周年、30周年ほどの大きな区切りではないこと、また、5年後に控えている40周年により大きなエネルギーを蓄えておきたいとの思いから、記念式典等は開催せず、記念事業のみに集中するという方針で進めてまいりました。

そこで、今回、クリスマス家族会の前の例会におきまして、式典に代わり、わずかの時間ではございますが、ご報告をさせていただくことになりました。

その記念事業につきましては、こののちご紹介させていただきますように、ロータリー財団から地区補助金もいただき、「鶴見緑地にアーモンドの森を作ろう」プロジェクトとして、本年2月17日にアーモンド50本の植樹式を実施いたしました。

35年を振り返ってみますと、大阪鶴見ロータリークラブは、国際交流基金を設立するなど国際奉仕に力を入れ、また鶴見緑地を中心とした社会奉仕を実施するという、二つの大きな特徴をもって、奉仕活動を積み重ねて来た経緯があります。

このたび、31年目から35年目までの活動の記録はもちろん、特に鶴見緑地に関連した35年間の奉仕活動の歴史を整理することも、たいへん意義深いことではないかと考え、この点につきましても、この後ご報告させていただきます。

35年間にわたり大阪鶴見ロータリークラブを支えていただきました皆さま、また本日お越しの台北市華朋扶輪社の皆様にご場をお借りして心より感謝申し上げますとともに、今後ともよろしくご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

● 35周年記念事業「鶴見緑地にアーモンドの森を作ろう」プロジェクトのご説明

35周年実行副委員長 津野友邦

2019年2月17日に花博記念公園鶴見緑地にて「鶴見緑地にアーモンドの森を作ろう」プロジェクトの植樹式が行われました。

このプロジェクトは大阪鶴見ロータリークラブの30周年記念事業の一環としてスタートしました。当クラブではアーモンドの森が子供達の成長とともに成長し、鶴見緑地の名所となりそして大阪の名所となることを願い、鶴見区の全ての幼稚園・保育園に記念プレートを作っていたが、2014年2月に30本の植樹を行いました。

その後毎年2月に5本ずつ植樹を続けて2018年2月に50本目の植樹が行われました。そしてアーモンドの森プロジェクトをさらに拡大する形でロータリー財団地区補助金を申請し承認を得て、大阪鶴見ロータリークラブ35周年記念事業&ロータリー財団地区補助金事業として50本の植樹を行い、合計100本の植樹を行うことが出来ました。

記念植樹式ではご来賓を代表し、大阪市鶴見区から区長の河村浩一様、ロータリークラブから国際ロータリー2660地区パストガバナー・2018年-2019年財団委員長の福家宏様にご挨拶をしていただきました。

来賓の皆様による鍬入れと水遣りの後、参加してくれた多くの幼稚園・保育園の子供たちによる水遣りが行われました。

鶴見区の茨田中学校の吹奏楽部の皆さんには随所で素晴らしい演奏を披露していただき植樹式を大いに盛り上げてくれました。また、子供たちに人気の鶴見区のマスコットキャラクター「つるりっぷ」も登場し植樹式に花を添えてくれました。

アーモンドの森のプロジェクトは、鶴見緑地パークセンター、鶴見緑地公園事務所、鶴見区役所の皆様など関係各所の皆様の周到なご準備の上に成り立っています。大阪鶴見ロータリークラブは、関係各所の皆様方のご尽力に深く感謝申し上げますとともに、「アーモンドの森」を鶴見緑地の名所そして大阪の名所として成長していくように継続して見守っていきたくと考えています。

● 大阪鶴見ロータリークラブ周年事業と鶴見緑地との関わり

35周年実行副委員長 中村 浩一

大阪鶴見ロータリークラブは1984年に創立され、本年で35周年を迎えました。当クラブ周年事業と鶴見緑地との関わりについてお話をさせていただきます。

設立時には、大阪市に鶴見緑地PR用のビデオソフトを寄贈致しました。

1987年は創立3周年事業として緑地世界の森に珍

しい「小鳥のマンション」を設置し地域の人達にバードウオチングを楽しんでもらおうと計画致しました。ひょうたん、竹、杉を素材にして巣箱を作成設置しました。この事業は朝日、毎日、読売、の3大紙に取り上げられ記事が掲載されました。しかし残念ながらこの小鳥のマンションは1990年の花博開催の際に取り払われてしまいました。

1989年の5周年には鶴見区に区花「はなみずき」を贈呈し、この年より緑地で開催されている鶴見区民祭りに参加をするようになりました。今日まで1度は台風の為中止の年がありましたが、種々の企画で29回参加し、地域の皆さんとの交流を図っております。

周年ではありませんが、1990年には鶴見緑地公園で「大阪花と緑の博覧会」が開催され当クラブは緑地公園内の迎賓館で例会を行いました。そして全国のロータリークラブ協賛で西ゲート前に「シマサルスベリ」の木を寄贈致しました。

1994年創立10周年には「Birds Come Back」をテーマに緑地内に実のなる木（エノキ、ムクノキ、モチノキ）等8本を寄贈し、それと共に緑地を訪れる野鳥の銘板を作成し、山と池の2か所に設置しました。また区内の中学生を対象に「花博記念公園PRコンテスト」を実施し、400点の作品が集り区民祭りと京阪モールで展示公開を致しました。

2004年の創立20周年には緑地大池に鳥の休憩できるフロートを寄贈し今でも鳥たちが休息をしています。

2014年創立30周年はメインテーマ「育もういのち」に「鶴見の自然を育もう」をコンセプトとして 創立10周年に設置した野鳥の銘板をリニューアル設置しました。そして鶴見区主催の「子供達の食育推進イベント」のサツマイモプロジェクトに参加、6月の苗植えから、除草、水やり、つる返し、11月の収穫まで参加、協力しております。当クラブはサツマイモの苗を提供しております。このイベントは人気があり申し込み後、抽選により400～500名が参加いたします。今年も10月26日に収穫作業を行いました。

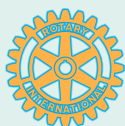
先程、津野副委員長から話がありましたアーモンドの森作りも30周年の大きな事業のひとつであり、100本の植樹をして本年で終了いたしました。将来鶴見区の名所、大阪の名所となることを祈念したいと思います。

このように鶴見緑地とのかかわりは今後も続けていかなければいけないと思います。

出席報告		12月17日【1657回】	
会員数	31名	ビジター	8名
(内出席規定免除 12名)		ゲスト	14名
出席会員	19名中 14名	出席総数	46名
出席免除会員	12名中 10名	前々回 12/3 M/U	2名
出席率	24/29 82.76%	修正出席率	78.57%

担当:水野会員

Rotary



www.rotary.info

# ROTARY

121万の  
ボランティア会員  
世界200カ国

## ロータリーソング

### 四つのテスト

言行はこれに照らしてから

真実かどうか  
みんなに公平か  
好意と友情を深めるか  
みんなのためになるかどうか

### R-O-T-A-R-Y

R-O-T-A-R-Y,  
that spells Rotary  
R-O-T-A-R-Y, is known on land and sea  
From North to South, from East to West  
He profits most who serves the best  
R-O-T-A-R-Y,  
that spells Rotary

### 奉仕の理想

奉仕の理想に集いし友よ  
御国に捧げん我等の業  
望むは世界の久遠の平和  
めぐる歯車いや輝きて  
永遠に榮えよ 我等のロータリー

### 我らの生業

我等の生業さまざまなれど  
集いて図る心は一つ  
求むるところは平和親睦  
力むるところは向上奉仕  
おゝロータリアン 我等の集い

### 限りなき道ロータリー

奉仕の理想 胸に秘め  
友情花と咲かせつつ  
生きよう今日も ニコニコと  
一筋の道 ロータリー  
限りなき道 ロータリー

### それでこそロータリー

どこで合っても やあとのおうよ  
見つけた時にゃ おいと呼ぼうよ  
遠い時には 手を振り合おうよ  
それでこそ ローローロータリー

### 町に灯(ともしび)を

出会いの挨拶してごらん  
並木さらさら葉から葉へ  
人にやさしい町の風  
ロータリー ロータリー  
廻って 守れ 風車になって  
地球がきれいな息をする

### われらがロータリー

「聞こえるかい 熱い心の高鳴りが」  
夢を世代に受け継いで  
今日も明日もその先も  
胸いっぱい友情深め  
肩組んで 謳おう  
われらが ロータリー